

キッチンカー

稼働マニュアル



車両番号 神戸 830 む 117
長さ 562 幅 191 高さ 306 総重量 4945
日野 TKG-XZC645M N04C 排気量 4000 軽油

所有 一般社団法人まがたま
大阪市中央区玉造 1 - 4 - 14
保管 兵庫県淡路市多賀 2135 - 7

車検満了日 令和 8 年 10 月 25 日
車両保険 三井住友海上 C570559061
製造物責任保険 日新火災 2567698495

バッテリー交換 2025 年 8 月

一般社団法人まがたま

全体構成の見直し

目次

操作と説明

出動前

往路走行

活動時

待機時

終了時

復路走行

帰還時

資料

電気システム

車両情報

三面図

車検証

損害保険



貸出前

使用に関する確認

活動行為にかかる責任

損害や賠償にかかる責任

車両点検 チェックリスト

搭載品 チェックリスト 貸出日&団体名&担当者サイン

返却時

操作 チェックリスト

搭載品 チェックリスト 返却日&団体名&担当者サイン

「災害対応車両」登録通知書

(法人名) 一般社団法人まがたま
(役 職) 代表理事
(氏 名) 田中 慶彦 殿

申請のあった災害対応車両の登録について、災害対応車両等登録規程（告示）により、次のとおり登録することを決定しましたので通知します。

1 車両の登録 ID 番号	K-000058
2 車両の種別	キッチンカー
3 車両ナンバー または製造番号	神戸 830 む 117
4 災害時に支援可能な用途	食事
5 登録の有効期限	令和 12 年 10 月 5 日
6 登録の条件	本登録を受けた者は、災害が発生し、又は発生する恐れがある区域を管轄する都道府県知事等の要請に基づき、その所有する災害対応車両を当該都道府県知事等に提供すること、又は、その可否について真摯に検討すること。

令和 7 年 10 月 6 日

内閣総理大臣 石破 茂
(公印省略)

第2562011700100005号

令和7年11月11日

緊急通行車両確認証明書

大阪府公安委員会



番号標に表示されている番号		神戸 830 む 117 号
車両の使用用途(緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名)		警報の発令及び伝達並びに避難の勧告又はこれに関する事項
活動地域		全国一円
車両の使用	住所	大阪府中央区玉造1丁目4番14号 (06) 7493 局 8790 番
	氏名又は名称	一般社団法人まがたま
有効期限		令和12年11月11日
備考		この証明書に記載された車両は、災害対策基本法施行令に規定する緊急通行車両である。

備考 用紙は、日本産業規格A4とする。

災害対応キッチントラック 簡易紹介

[内閣府登録災害対応車両](#) (登録 ID: K-000058)

一般社団法人まがたまが運用する「災害対応キッチントラック」は、内閣府登録の災害対応車両として認定されています。被災地での食事提供を目的に設計され、安全・衛生・栄養管理を両立できる移動型の調理拠点です。

【 主な特徴 】

● スチームコンベクションオーブン搭載

温度と湿度を自動制御し、食材内部まで安全に加熱することで食中毒などの二次的被害を防ぎます。

炊飯・蒸し・焼き・煮込みに対応し、被災地でも衛生的で温かい食事提供を可能にします。栄養を保ちながら、高齢者や乳幼児など要配慮者にもやさしい調理が行えます。

ホシザキスチコン(MIX-5TC-G-L)を搭載。



● 業務用ディーゼル発電機(Denyo DCA-13LSYE)

車両には 13kVA クラスの業務用発電機を搭載。

トラック内の厨房機器とは基本的に独立しており、食支援とは別の活動として電力供給できます。災害に伴う停電時に、予備電源のない医療施設や介護施設などで応急的に活用いただけます。



● 電力の多重供給システム

電力は状況に応じて 3 系統から確保できます。

ソーラー充電(PS-30M)／走行充電(SBC-002A)／外部電源・発電機入力

これにより、昼夜・天候を問わず電力を維持し、長期活動にも対応します。

● 給水・排水システム(200L タンク搭載)

自動ポンプで給水でき、衛生的に手洗いや調理用水を確保。

排水も分離管理され、現場での衛生リスクを最小化します。

● プロパンガス調理設備

10kg ボンベ×2 本を搭載し、コンロ・炊飯器・スチコンなど多用途に対応。

点火・圧力管理・漏れ防止など安全基準に準拠しています。

● 冷蔵・冷凍・空調設備

コールドテーブル、冷凍ストッカー、業務用エアコンを完備。

食材や調理済み食品の温度管理・品質保持が可能です。



車両仕様

ベース車両：日野 TKG-XZC645M(軽油 4,000cc)

サイズ：長さ 562cm × 幅 191cm × 高さ 306cm

総重量：4,945kg

登録：内閣府「災害対応車両」

登録番号：神戸 830 む 117

安全・保険体制

三井住友海上保険加入(車両保険)

日新火災海上保険(PL 保険)

各機器・電気・ガス・水系統は安全点検マニュアルに基づき運用

出動時は担当責任者立会いのもと安全・衛生チェックリスト運用

→別紙、キッチンカー稼働マニュアル



災害現場での活用イメージ

現地避難所や拠点にて「遠隔調理＋現地仕上げ」を実施

発電・給水・冷凍保存・調理・配膳を1台で完結

衛生・栄養管理を担保しつつ、要配慮者にも対応できる食支援を展開

保管拠点

兵庫県淡路市多賀 2135-7

(出動・訓練・メンテナンス拠点)

キッチントラック 詳細マニュアル

出動前・車両確認

説明

出動前には、立会人と担当責任者が実際に車両を目視・操作を通して確認し、各装置や機器の状態をチェックします。タイヤの空気圧、ブレーキ性能、ライトや信号灯の点灯、燃料や冷却水の量、サブバッテリー残量、発電機の作動状態、ガスボンベ残量など、全ての主要装置を確認し、安全性を確保します。担当責任者は出動中も機器の操作や注意事項を監督・管理する責任があります。現場や状況によって立会人が不在でも、担当責任者が車両と機器の安全を最優先で管理します。

注意事項

- タイヤの空気圧やホイールナットの緩み、ライト・ブレーキ灯の点灯確認を徹底
- サブバッテリー残量確認、必要に応じて走行充電や外部充電の計画を実施
- ガスボンベ残量確認、接続状態、安全性確認
- 水タンク（浄水・排水）の残量確認と前回使用後の洗浄状況の確認

電圧 25~26

燃料 …手動時は満タンで、走行距離計算、予備タンクの必要性

タイヤ（気圧、溝）…早めの点検、スタッドレス対応

蓄電残量 …サブバッテリー点検

車両外観 …塩害点検、戸締り点検



発電機（[DCA-13LSYE](#)）の点検

燃料、オイル確認

出力接続先の確認

操作手順

メインスイッチ ON、エンジンスタート

使用電力に応じて出力を変更する、音の状態を確認



調理庫内チェック

電気、プロパンガス、水 … 点検

停車時、走行時、調理時の設定確認

電気 電気使用する厨房機器で通電確認
コンセント確認

ガス 開栓、火力と漏れ確認
プロパンガス 10kg×2 本 1 本は満タン状態
(追加購入できるようにライセンスカード車載)
固定バンドの確認

水 満タン 200 ㍓

保冷库 アルコール消毒、電源事前に ON

積込食材チェック 別紙棚卸管理表

出勤時に何人前? [米、ベース、冷凍野菜、追加買足し]

追加の想定

調理器具 [包丁など調理備品、ボール、バット、]

衛生管理 [洗剤、消毒、ゴミ対応]

配食容器 [碗、皿、スプーン、箸]

活動時における記録

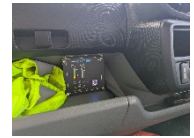
走行前チェックリスト、食材リスト(棚卸形式)

現地責任者との確認書類

活動終了時の報告書、経費精算、申送り、改善事項

確認事項 [簡易]

電気 電源 (通常) 車のバッテリーからインバーター 助手席電源 ON
(外部電源) (発電機) 毎にコンセント二つを差し替える



停車時… (ソーラー) 太陽光充電 ON に切替
通常は太陽光充電 OFF



発進前… (外部電源) 電源を外部につないで、冷蔵庫を冷やす
※冷蔵庫冷凍庫の電源コードが挟まるので注意！
※発進走行時には車バッテリーに繋ぐ



走行時…インバーター電源、庫内ブレーカーON、換気扇 OFF、水ポンプ OFF
走行充電されるので、負荷がかかるのでソーラーOFF が基本



調理時… (外部電源) 電源を外部に繋ぐとエアコン以外稼働できる
(通常) インバーター電源、庫内ブレーカーON、換気扇 ON、水ポンプ ON
※スチコン稼働には時間を要する
※水ポンプは必ず注水された状態で ON
エアコン 200v 使用は発電機稼働
※通電中に自動洗浄を終わらせる→早めにエアコン OFF
後方扉 (90 度、180 度)



保管時…冷蔵庫、冷凍庫から食材取出してコンセント抜く→乾燥後アルコール洗浄
使用した調理器具の洗浄、コンロ洗浄、スチコン洗浄
ソーラーOFF、水ポンプ OFF、換気扇 OFF、庫内ブレーカーOFF
庫内水洗い (車両を傾斜状態に) →乾燥→アルコール除菌

ガス 停車時、走行時…元栓 (写真) 二か所 (タンク側とホース側)
※使用頻度が少ない時は点火に時間を要する
調理時…一日 10k を使い切ることはないが残量は常に点検
保管時…残量確認と補填

水 外部から注水 自動ストッパー? (写真)
水ポンプ電源オン ON⇔OFF (写真)
※水空状態での稼働を避けるために通常は OFF、使用時のみ ON
※排水時に水ポンプ OFF を確認
走行時は満水を避ける
※現地近くで給水と排水
保管時…排水 (浄水、汚水) 長期保管の場合は排水にハイター洗浄

解説

1. 電気系統

1-1. 前提説明

トラック内には、メインバッテリー・サブバッテリー・インバーター・外部充電器・発電機・ソーラー充電装置など複数の電源系統があり、現場や使用状況に応じて切り替えながら運用します。誤った操作や過負荷は機器破損や安全事故につながる可能性があるため、各装置の電源状態や運転条件を正確に理解し、安全管理を徹底することが重要です。

1-2. 電源供給切替

説明

車両内の2口コンセントコードは、発電機や外部電源からの供給に応じて室内全体の電源供給先を切り替えられます。インバーター接続時は運転席のスイッチでON/OFFを操作し、外部充電器使用時はブレーカースイッチをOFFにする必要があります。誤操作を防ぐため、すべての切替操作は運転席で行い、使用状況に応じて適切な電源管理を徹底します。

注意事項

- インバーターのON/OFF操作は必ず運転席で行う
- 外部充電中はインバーターOFFで過負荷を防ぐ
- 発電機は屋外で使用し、排気・換気・騒音管理に注意
- 大電力機器（IH・エアコン）は発電機稼働時のみ使用



1-3. 使用状況別操作

- 待機時（出発前・車庫保管）：ソーラー充電 ON、インバーターOFF、必要に応じ外部充電
- 現地活動（停車・太陽光あり）：ソーラーON、インバーターON、外部充電併用可、発電機は必要時のみ ON
- 現地活動（停車・太陽光なし／夜間）：ソーラー発電なし、インバーターON、必要に応じ外部充電・発電機 ON
- 走行時：走行充電自動、ソーラーON、インバーターOFF
- 庫内電源使用時（調理・照明など）：インバーターON、ソーラーON、発電機は大電力機器のみ使用
- 発電機使用時（外部電源なし・エアコン稼働時）：発電機 ON、インバーターOFF、外部入力ケーブルを発電機に接続
- 活動終了・帰還後：全機器スイッチ OFF、発電機停止・燃料コック閉、外部電源取り外し

1-4. 総合注意事項（電気全般）

- インバーターは走行中・外部充電中は必ず OFF
- 発電機は屋外使用、換気徹底
- ソーラー充電は基本 ON で操作不要
- 大電力機器は発電機稼働時のみ使用
- 活動終了後はインバーターOFF・外部電源 OFF・発電機停止を必ず確認



2. 水系統

2-1. 前提説明

トラックには浄水用タンクと排水用タンクが設置されており、それぞれ役割が異なります。排水操作の誤りは走行中の横転や衛生事故につながるため、タンクの残量確認や適切な洗浄、重心バランスの管理を徹底して安全確保を行うことが重要です。



2-2. 浄水用タンク

説明

使用前には前回残水や洗浄状況を確認し、**水ポンプ**は必ず水が入った状態で電源 ON にしてください。空状態で稼働させるとポンプ破損の原因となります。浄水タンクは調理や飲料水供給に使用されるため、常に清潔を維持し、水質管理に注意して使用します。

注意事項

- タンク内残水確認
- 水ポンプ空運転禁止
- 使用前に新しい水に入れ替え
- 出口ホース・バルブの清潔確認



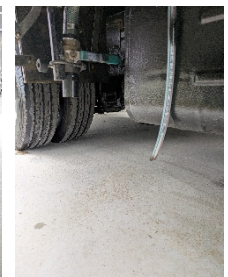
2-3. 排水用タンク

説明

排水用タンクは走行中の重量バランスや衛生管理に影響するため、活動前・後に適切に排水する必要があります。特に現地活動後は消毒液で内部洗浄することで、帰還後の清掃作業を容易にし、衛生的な管理を維持できます。

注意事項

- 公共施設や指定場所で排水を確認
- 重量バランス調整のため走行前に一定量排水
- 消毒液で内部洗浄
- 横転・こぼれ防止のため水平安定確認



3. プロパンガス系統

3-1. 前提説明

トラック内ではコンロ・炊飯器・スチコンなど、調理用にプロパンガスを使用します。ガスボンベ残量や接続ホースの安全を事前に確認し、事故防止と安全作業を最優先します。現地でのガス供給トラブルや空運転を避けるため、予備ボンベを満充填状態で帰還時に確認・補填することが重要です。

3-2. コンロ使用時

説明

コンロでガスを使用する際は、まず着火確認を行い、ガスホースと本体の接続が正しいことを確認しま



す。長期間使用していなかった場合、ホース内にガスが停滞して点火に時間がかかることがあります。必要に応じてガス元栓とホース側を開栓後、数回点火操作を行いガス供給が確実であることを確認してから調理を開始します。

注意事項

- ガスホースや接続部の亀裂や劣化を確認
- 着火できない場合は連続操作せず、一度待機後再試行
- 使用後は元栓閉鎖、ガス漏れ確認

3-3. 炊飯器使用時

説明

炊飯器もプロパンガスで作動するため、事前にガス供給が正常かを確認します。コンロ側で着火可能か確認後、炊飯器のガス側を開栓し、メーカー取扱説明書に従って操作します。調理中も安全を確認しながら作業を行うことが重要です。

注意事項

- ガス供給状況の事前確認
- ホース劣化・接続不良によるガス漏れに注意
- 使用後はガス元栓と炊飯器バルブを閉じる

3-4. スチコン使用時 ホシザキ [MIX-5 TC-G-L](#) [操作説明動画](#)

説明

スチコンはガス供給の確認が難いため、コンロ側で着火確認後に操作を開始します。メーカー取扱説明書を参照し、仕様に従って操作してください。長期間未使用の場合、ホース内ガスの停滞があるため点火操作を複数回行うことがあります。



注意事項

- コンロ側着火確認後にスチコン操作開始
- ガス供給異常時は使用中止
- 長期末使用後はホース内ガスの停滞に注意

3-5. 総合注意事項（ガス全般）

- 常に安全と事故防止を意識
- 長期末使用時はガスホース内ガスの滞留に注意し、点火確認必須
- 使用後はガス元栓・機器バルブを必ず閉じる
- 万が一ガス漏れの可能性がある場合、火気厳禁・換気徹底・使用中止
- 各機器の操作はメーカー取扱説明書に従う

電気システム基本構造、操作と説明

庫内への電力供給の切替は、発電機室内のコンセント差し替えにより行う。

（容量のために2本に分かれた）コンセントが庫内ブレーカに繋がれております。基本的には、インバータ経由でサブバッテリーに繋がれています。

電源を借りる場合にはこの2本のコンセントを外部電源に、発電機から電力を流すこともできます。

車両サブバッテリー、外部電源、発電機から庫内に電気を送り込みます。



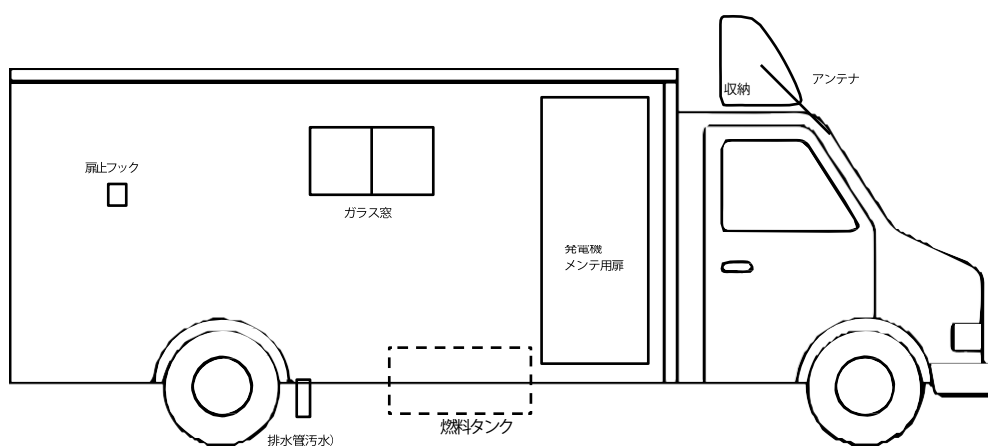
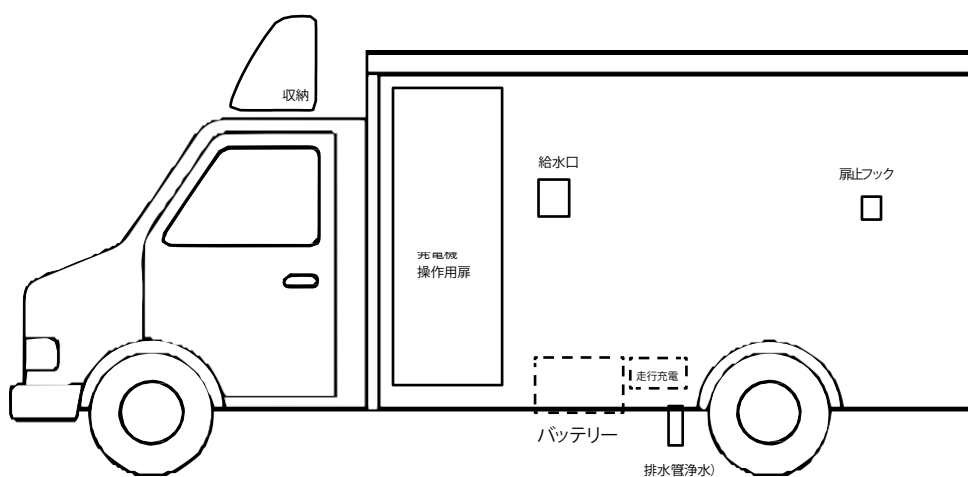
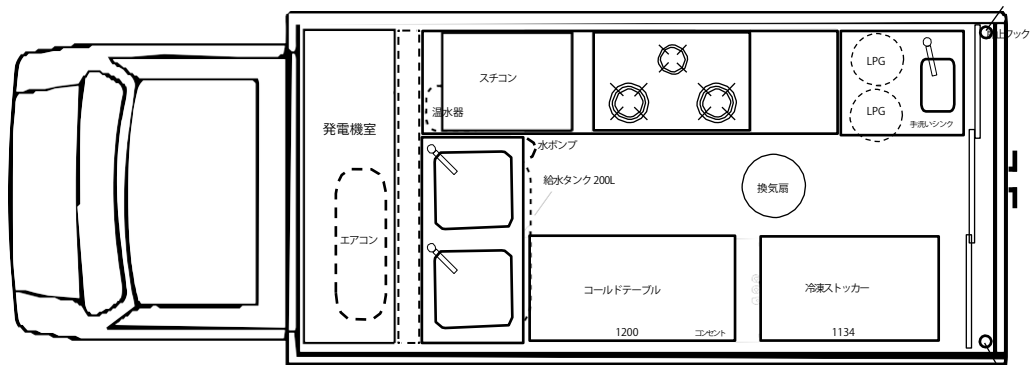
助手席にあるインバータパネルをONにすることで、サブバッテリー経由のインバータが稼働して庫内ブレーカに通電されます。発電機や外部電源からの電源の場合は、直にブレーカへと流れます。

注意として、必ず電力が供給された状態で、次のブレーカを立ち上げてください。

付け加えるとして、インバータに繋がれているサブバッテリーへの電力供給は、走行充電、ソーラー充電、外部充電が可能です。出動前に、助手席のインバータパネルをつけて容量が少ない場合は、外部から電源供給することが可能だが、インバータ Off にしなければならないので、あまり現実的ではない。

出動前に冷蔵庫や冷凍庫を冷やす必要のある場合には、サブバッテリーへの外部充電ではなく、2本のコンセント差し替えによる直接庫内への電力供給とする。十分冷えたなら、食材を移し、出発の準備。コンセントを元のインバータに戻す。この時の理想は一度ブレーカを落してからコンセントを差し替えて再度庫内ブレーカを稼働させる。

走行時、サブバッテリーへ走行充電されます。状況に応じてソーラー充電可能で、この場合には庫内奥にあるブレーカ右手のソーラーコントローラーONに切り換える。通常はOffが基本となる。

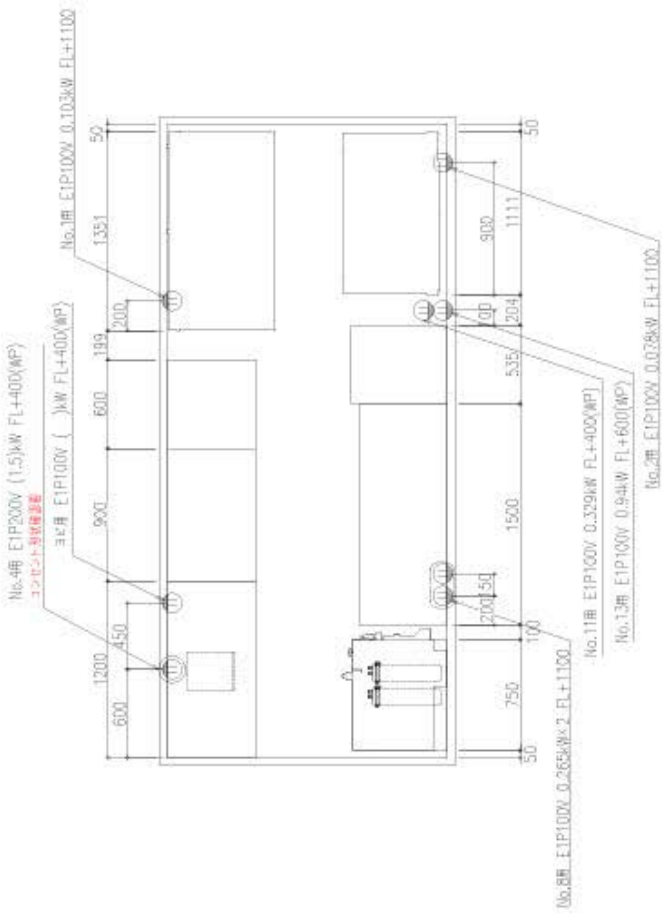


MAGATAMA様 日野デュトロ平面図



※手洗いシンク給水は200ℓタンクより
 ※手洗いシンク下部は排水タンクのみ
 ※LPGはバンドにて固定
 ※幅は壁面ボード貼りの為10mm短くしています。

キャビン上部に給水タンク設置200ℓ

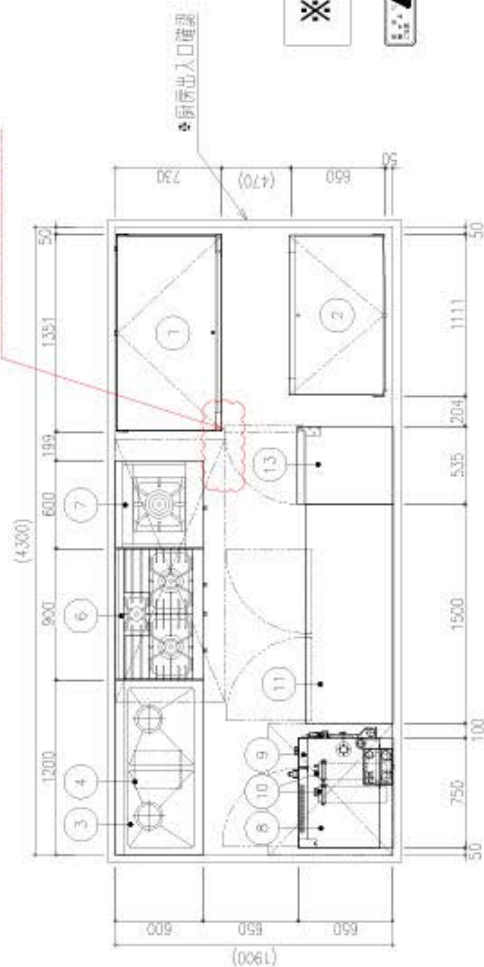


設備シンボル凡例			
☐ 器具	☐ 水栓	☐ 排水	☐ 電気
☐ 器具	☐ 水栓	☐ 排水	☐ 電気
☐ 器具	☐ 水栓	☐ 排水	☐ 電気
☐ 器具	☐ 水栓	☐ 排水	☐ 電気
☐ 器具	☐ 水栓	☐ 排水	☐ 電気
☐ 器具	☐ 水栓	☐ 排水	☐ 電気
☐ 器具	☐ 水栓	☐ 排水	☐ 電気
☐ 器具	☐ 水栓	☐ 排水	☐ 電気
☐ 器具	☐ 水栓	☐ 排水	☐ 電気



予備コンセント打合せ要

訂 正		作成日		2021/12/13		図 計		作 図		541213104		機 器 名 義		キッチンカー・ブランチ		図 式		1/30	
		家 長		安田				名 義		市 役		図 式 名 義		新居機舎設備設置工・電気工					



特記事項

- ① 給湯器配取付位置は打合せにより決定する(別添図参照工事)
 ② 給湯器配管は水、ガス、電気の一列型、二次巻接続工事
 ③ 及びフットボード工事は、別添図工事とする
 ④ 内寸法は現場工事とする
 ⑤ 手洗器(別添図参照工事)
 ⑥ GT・給湯器(別添図参照工事)
 ⑦ 給湯器配管は水、ガス、電気の一列型、二次巻接続工事
 ⑧ 及びフットボード工事は、別添図工事とする
 ⑨ 内寸法は現場工事とする
 ⑩ 手洗器(別添図参照工事)
 ⑪ GT・給湯器(別添図参照工事)

※手洗器打合せ

● 燃焼器具設置(壁・柱・天井・床)は下地・仕上げ共に不燃構造であることを前記した器具配列です。

[illegible][illegible]

- 電気、給水、給油、排気、ガス、暖気の一度
- おたけりや足踏み式時計工事
- 何層階行方指示の標記設置・消火器設置

[illegible][illegible]

トシザキ販売株式会社

作成日	2021/12/13	原簿番号	547213104	領付名称	キッチンカープラン図	発行	1/30
承認	安田	部 計	作 原	目 録	原簿名称	年 度	1/30

13kVA Class

エコベース搭載の環境対応ボディ
三相・単相ワンタッチ切替標準装備

エコベース 低騒音

DCA-13LSYE

50/60Hz 6.1/7.5kVA 単相
50/60Hz 10.5/13kVA 三相
ワンタッチ



長時間連続運転に対応。
三相・単相ワンタッチ切替標準装備

ビッグタンク搭載エコベース 低騒音

DCA-13LSYB

50/60Hz 6.1/7.5kVA 単相
50/60Hz 10.5/13kVA 三相
ワンタッチ



コンパクトで積載性に優れた
ノーマルベース機

ノーマルベース 低騒音

DCA-13LSK

50/60Hz 10.5/13kVA 三相
受注生産



アイコンの凡例

50/60Hz 11.5/14.4kVA 単相
最大100W/110V
250W電源の
定格出力

50/60Hz 20/25kVA 三相
最大200W/220V
250W電源の
定格出力

3
電圧仕様
標準装備

三相・二相切替仕様
標準装備

並列運転にも
対応

許可証

営業者の氏名
(法人にあっては、名称)

一般社団法人まがたま

営業所所在地

大阪市中心区玉造1丁目4番14号

営業所名称
(屋号又は商号)

まがたま

営業の種類

飲食店営業

許可年月日及び番号

令和 4年 7月27日 大阪市指令 大保食 第 22-4786号

許可条件

- この許可の有効期間は、令和 4年 7月27日から令和10年 7月31日までとする。
- 生食用食肉の調理加工は認めない。
- ふぐの処理を認めない。

食品衛生法第55条第1項の規定により頭書のとおり許可を受けていることを証明する。

令和 4年 7月27日

大阪市長

松井 一郎



A

記録年月日 令和 6 年 10 月 24 日

自動車検査証記録事項

611240468875

1. 基本情報											
自動車登録番号又は車両番号		神戸 8 3 0 む 1 1 7									
車台番号		X Z C 6 4 5 - 0 0 0 2 3 2 5									
登録年月日／交付年月日		令和 4 年 10 月 26 日		初度登録年月		平成 26 年 2 月		有効期間の満了する日		令和 8 年 10 月 25 日	
2. 所有者・使用者情報											
所有者の氏名又は名称		一般社団法人まがたま									
所有者の住所		大阪府大阪市中央区玉造 1 丁目 4 - 1 4 [27027 0768]									
使用者の氏名又は名称		***									
使用者の住所		***									
使用の本拠の位置		兵庫県淡路市多賀 2 1 3 5 - 7 [28524 0572]									
3. 車両詳細情報											
車名		日野 [262]									
型式		T K G - X Z C 6 4 5 M				原動機の型式		N O 4 C			
自動車の種別		普 通		用途		特 種		自家用・事業用の別		自家用	
車体の形状		加工車 [630]				乗車定員		3 人		最大積載量 - kg	
車両重量		4780 kg		車両総重量		4945 kg		長さ		562 cm	
前前軸重		1980 kg		前後軸重		- kg		後前軸重		- kg	
燃料の種類		軽油		型式指定番号				類別区分番号			
4. 備考											
[大阪]，継続検査 自動車重量税額 ￥41,000 [24年度税制]平成26年2月26日 新規登録 50%減税措置 済み 平成27年度燃費基準達成車 使用車種規制（NOx・PM）適合。この自動車の使用の本拠はNOx・PM対策地域外です。 [走行距離計表示値] 24,300 km（令和6年10月24日） [旧走行距離計表示値] 22,400 km（令和4年10月3日） 平成13年騒音規制車，近接排気騒音規制値 98 dB 平成13年特種構造要件適用車 [受検種別] 指定整備車 [検査時の点検整備実施状況] 点検整備記録簿記載あり [受検形態] 指定整備工場 [整備工場コード] 61-02303 以下余白											

【注意事項】

記録事項はシステム登録時点の情報となります

車両ID	T9571WH9870961
------	----------------



自動車保険証券

契約日 令和 8年 7月31日 証券作成日 令和 8年 8月 2日

保険 契約者 〒 540-0004

住 所 大阪府 大阪市 中央区 玉造 1丁目 4-14

氏 名 一般社団法人まがたま
代表理事 田中 慶彦 様

A00141

72530-
745808

証券番号 2642893485

当会社は、普通保険約款、特約および利用規約に基づく保険契約を、保険契約者と締結しました。

本社所在地 東京都千代田区神田駿河台二丁目3番地

日新火災海上保険株式会社
取締役社長

織山 晋

印紙税申告納
付につき神田
税務署承認済

こちらの二次元コードからお問い合わせください。

取扱代理店： ささやま保険サービス
TEL (079) 552-4305

保険の種類	新総合自動車保険 ユーサイド	契約者区分	ノンフリート
保険期間	令和 8年 9月19日 午後 4時から 令和 9年 9月19日 午後 4時まで	1年 間	

ご契約のお車（被保険自動車）			
☆用途車種	自家用小型乗用車		
☆登録番号	なにわ 502 な 8808		
☆車台番号	GP7-1040552		
車 名	シャトル		
料率クラス	車両：8 対人：7 対物：7 傷害：5	AEB装置	あり
仕 様			
型 式	GP7	排気量	1.49L
初度登録年月 初度検査年月	平成28年 7月	車検満了日	令和 9年 7月11日
車両所有者 (車両保険被保険者)	一般社団法人まがたま 代表理事 田中 慶彦		
所有権留保条項付 売買契約の買主・ リース契約の借主			

適用される割増引	
等 級	20等級（割引63%） 事故有係数適用なし（事故有係数適用期間0年）
そ の 他	長期優良契約割引

【ご注意】
☆印を付している項目に変更が生じた際は、遅滞なく弊社にご連絡ください。ご連絡がない場合はご契約を解除し、保険金をお支払できないことがありますのでご注意ください。

ご契約者カード



一般社団法人まがたま 代表理事 田中 慶彦 様

証券番号	2642893485
登録番号	なにわ 502 な 8808
車台番号	GP7-1040552
保険期間	令和 8年 9月19日 午後 4時から 令和 9年 9月19日 午後 4時まで

日新火災 事故受付センター	フリーダイヤル 0120-25-7474 までお電話を！ 受付時間：24時間・365日
レッカー・ロードサービス手配 (ドライビングサポート24)	フリーダイヤル 0120-097-365 までお電話を！ ドライビングサポート24をご利用いただけます。 受付時間：24時間・365日
取扱代理店	ささやま保険サービス (079)552-4305

←点線で切り取り、
半分に折ってご使用ください。

ご契約内容のご相談は 日新火災 テレフォンサービスセンター
フリーダイヤル 0120-616-898 までお電話を！ 受付時間：9:00～18:00（平日） 9:00～17:00（土日祝）

* 万が一のご連絡の際は、上記証券番号などをお伝えください。

各サービスの詳細は、「ご契約のしおり」をご確認ください。

証券番号 2567698405

72530-745808



証券作成日 令和 7 年 10 月 18 日

種類	ビジネス（統合賠償責任保険）									
期間	令和 7 年 11 月 4 日 午前 0時から	1 年								
	令和 8 年 11 月 4 日 午後 4時まで	※※月※※※日間								
業者名	契約者と同じ									
見積方法					縮小 支払割合					%

お 支 払 方 法	払込期日	令和 7年12月末日	団体 名	団体コード ()		
	払込方法	一時払 コンビニ		国内のみ		
	分割種類					
	分割回数					
合計 保険料	(分割払の場合は総保険料)		円	1回分 保険料	(分割払の場合のみ)	円
	5,000					

約 定 の 条 件	ご契約時にお客さまから提供いただいた情報（保険の対象など）	補償する項目	支払限度額または保険金額			自己負担額
			1名につき 千円	1事故につき 千円	保険期間中 千円	1事故につき 千円
☆対象とする業務・生産物 保険料算出の基礎 主たる業種等名称	サイカイヒサイシャ ノ インショクフツ ノ テイキョウ 売上高・完工高 169千円 飲食業	身体財物共通		100,000	100,000	0
※項	支払限度額など 特約の条件など					

運送貨物特約 補償する項目の「保管中等」とは「保管中、仮置中、作業中」をいいます

特約に
関する
追加条件

裏面も必ずご確認ください。

119-0001

備蓄食事の運送について

被災地には、災害対応車両であるキッチントラックを常駐させ、現地での炊き出しや食事提供を行います。

小規模災害であれば現地のみでの活動が可能ですが、大規模災害時には食材や飲料水の確保が困難となる場合があります。そのような状況下でも、栄養と衛生管理に配慮した食事を安定的に提供し、二次的な健康被害の抑制につなげることを目的として、「二拠点型支援体制」を構築しました。

本体制では、遠隔地において栄養・衛生管理を徹底した食事を事前に調理し、超低温冷凍（ -60°C ）で備蓄します。被災地の状況や要請内容に応じて、適時配送する仕組みです。

配送体制

調理済みの食事は、10食単位で真空パックし、50食ごとに小型段ボールに梱包のうえ、超低温冷凍（ -60°C ）で保管しています。

運搬時には、大型保冷バッグ（Zパック 300L）に12箱の段ボールを収納でき、通常はこの保冷バッグと資機材を搭載して運搬します。状況に応じて保冷バッグを増やすことで最大1,000食まで運搬可能。

なお、超低温冷凍状態（ -60°C ）から通常の冷凍温度帯（ -18°C ）に達するまでには、理論上約30時間を要します。周囲の気温や輸送条件により若干の差はありますが、十分な保冷性能を保持しています。必要に応じて、高性能保冷剤を併用し、温度管理を強化します。

輸送手段の選択

被災地までの距離・気温・運搬時間などを総合的に考慮し、当該車両以外の輸送手段も併せて検討しています。

発災当初の緊急時を想定して、当該車両を用いた運搬の必要性をお知らせしておりますが、経過とともに運搬会社による配送に切り替えて活動を継続することになります。

※大型保冷バッグ <https://cool-box.jp/>

※高性能保冷剤 https://www.sunyou-pmp.co.jp/jigyoku/konpousizai/keepthermo_plus.html

※本田シャトルハイブリッド <https://www.honda.co.jp/auto-archive/shuttle/>

※佐川急便 <https://www.sagawa-exp.co.jp/>



災害対応車両運用チェックリスト（詳細版）

1. 出勤前・車庫待機

電気系統

- ☐ ソーラー（PS-30M）：ON（晴天時は自動充電）
- ☐ インバーター（SP3000-124）：OFF（走行中・外部充電時は OFF）
- ☐ 外部充電（CX2425）：必要時接続（インバーターOFF）
- ☐ 発電機：停止（エアコン 200V は使用不可）
- ☐ 長期保管時はバッテリー残量を月 1 回確認

プロパンガス

- ☐ ガスボンベ残量確認（必ず満タン・予備ボンベも確認）
- ☐ ホース接続部・元栓に亀裂・劣化なし
- ☐ ガス漏れチェック（嗅覚・専用検知器）

水系統

- ☐ 浄水タンク残量確認
- ☐ 排水タンク残量確認
- ☐ 水ポンプは水を入れた状態で待機
- ☐ 前回使用後の洗浄状況確認

備品・安全

- ☐ タイヤ空気圧・ホイールナット確認
- ☐ ライト・ブレーキ点灯確認
- ☐ 車両冷却水・燃料量確認
- ☐ 消火器・安全備品確認

2. 現地活動（停車・太陽光あり）

電気系統

- ☐ ソーラー：ON
- ☐ インバーター：ON → 庫内電源使用可
- ☐ 外部充電：可能なら接続
- ☐ 発電機：必要時のみ（エアコン 200V 使用時必須）
- ☐ 大電力機器（IH・エアコン）は発電機併用

プロパンガス

- ☐ コンロ・炊飯器・スチコンのガス供給確認
- ☐ 機器着火テスト（長期未使用時はホース内ガス確認）
- ☐ 使用後は必ず元栓・機器バルブ閉鎖

水系統

- ☐ 水ポンプ ON で庫内給水確認
- ☐ 排水流れ確認

備品・安全

- ☐ 作業スペース安全確認（火気・通路・照明）

3. 現地活動（停車・太陽光なし／夜間）

- ☐ ソーラー：発電なし → バッテリー残量注意
- ☐ インバーター：ON
- ☐ 外部充電：可能なら接続
- ☐ 発電機：必要に応じて稼働
- ☐ 夜間はバッテリー残量をこまめに確認
- ☐ プロパンガス・水系統は昼間同様に確認

4. 走行時

- ☐ 走行充電（SBC-002A）：自動 ON
- ☐ ソーラー：ON
- ☐ インバーター：OFF（庫内電源使用不可）
- ☐ 冷蔵庫・冷凍庫の温度確認（必要時は出発前に直接コンセントで冷却）

5. 庫内電源使用时（調理・照明など）

- ☐ インバーター：ON
- ☐ ソーラー：ON
- ☐ 外部充電：併用可能
- ☐ 発電機：IH・大電力使用時のみ ON
- ☐ インバーター容量を超える機器は使用禁止
- ☐ プロパンガス操作（コンロ・炊飯器・スチコン）と同期
- ☐ 水ポンプ・給水・排水の稼働確認

6. 発電機使用时（外部電源なし・エアコン稼働時）

- ☐ 発電機：ON（必ず屋外使用・換気徹底）
- ☐ 外部入力ケーブル → 発電機接続
- ☐ インバーター：OFF（外部充電仕様）
- ☐ 大電力機器使用可（燃料残量・換気・騒音管理）

7. 活動終了時・片付け

- ☐ 使用機器スイッチすべて OFF
- ☐ インバーターOFF
- ☐ 発電機停止・燃料コック閉
- ☐ 外部電源取り外し

- ☐ 庫内清掃（床・調理台・シンク）
- ☐ 浄水・排水タンク洗浄
- ☐ 食材整理・冷蔵庫・冷凍庫温度確認
- ☐ ゴミ・衛生管理

8. 帰り走行時

- ☐ 走行充電：自動 ON
- ☐ ソーラー：ON
- ☐ インバーター：OFF
- ☐ 冷蔵庫・冷凍庫の電力確認（使用不可）

9. 帰還後（車庫・保管）

- ☐ ソーラー：ON（自動充電継続）
- ☐ 外部充電：接続して満充電維持
- ☐ インバーター：OFF
- ☐ 発電機：燃料残量確認、保管
- ☐ プロパンガス残量・元栓確認
- ☐ 水タンク残量・清掃確認
- ☐ 庫内清掃・衛生確認

10. 最終確認

- ☐ インバーターは走行中・外部充電中 OFF
- ☐ 発電機は屋外使用・換気徹底
- ☐ ソーラーは基本 ON で操作不要
- ☐ 大電力機器（IH・エアコン）は発電機稼働時のみ使用可
- ☐ 終了後は「インバーターOFF・外部電源 OFF・発電機停止」を確認
- ☐ ガス・水・庫内衛生すべて確認

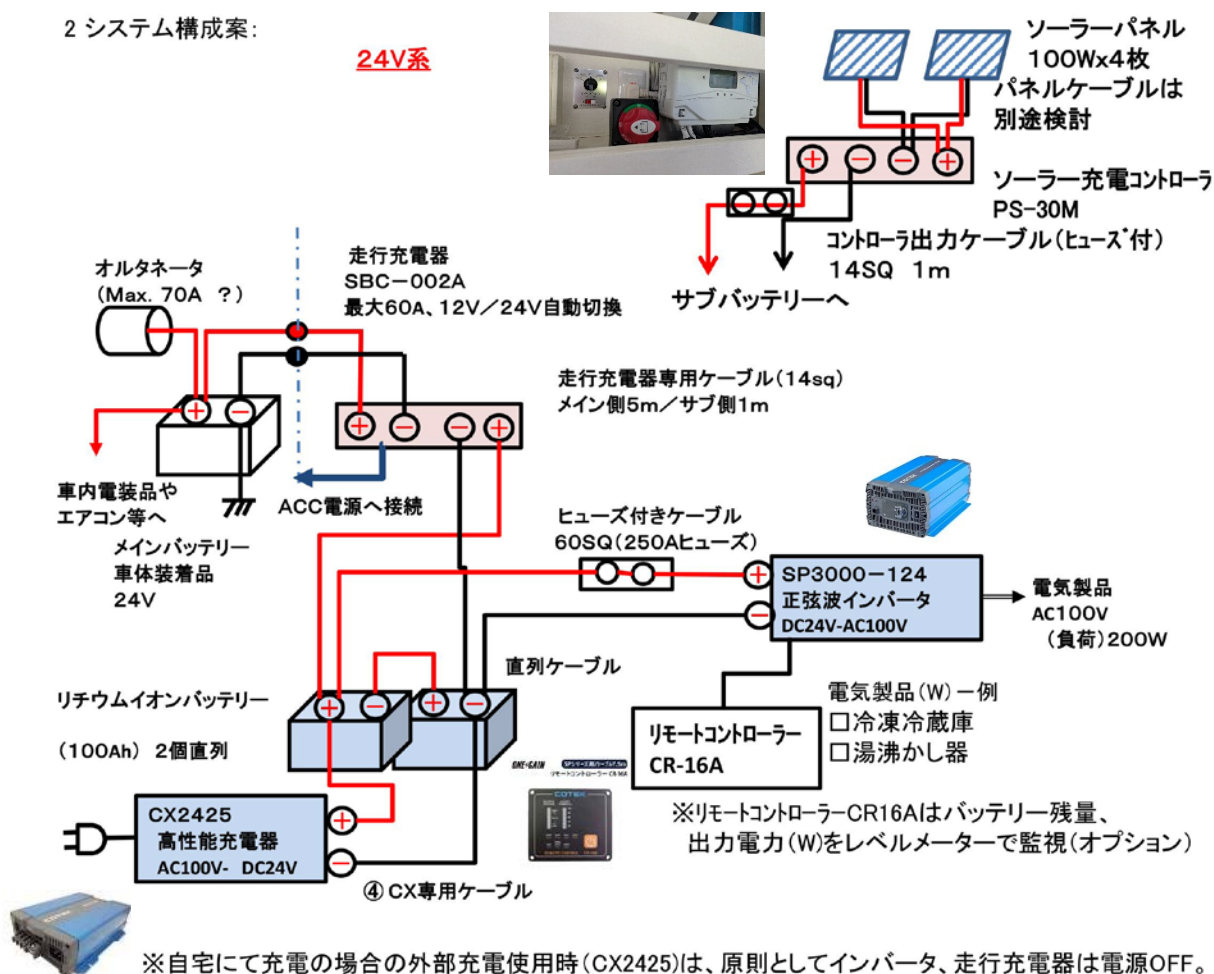
【システム概要書】

SPシリーズインバータ使用

1 システム要件・条件:

1. 用途 ■ 自動車 □ ボート □ 自家発電 □ その他() : 日野トラック(24V)
2. 主な電気製品例 : 例えば、冷蔵庫、湯沸かし器等
3. 接続概要
サブバッテリー充電による正弦波インバータでのAC100V電源供給。
サブバッテリーに24V系リチウムイオンバッテリー100Ahを2個のフル充電で、
使える蓄電量は $100\text{Ah} \times 25.6\text{V} \times 0.9$ (インバータ効率)=**2,304Wh**
●電気製品の平均200Wが何時間程度使用できるかの概算について
 $2,304\text{Wh} \div 200\text{W} = 11.5$ 時間(バッテリー蓄電のみ)⇒ 約11時間半の使用が可能。
走行充電器、ソーラー発電による補足充電で、放電時間の時間延長は可能。

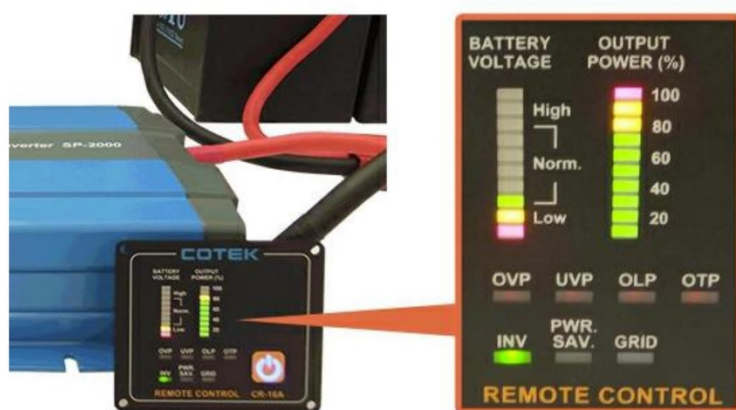
2 システム構成案:



3 注意事項

1. ケーブルの接続は、バッテリーへの接続を最後にしてください。
バッテリーへの接続は、+赤ケーブルを先につなぎ、その後で-黒ケーブルを繋いでください。
反対に、バッテリーからケーブルを外す場合は、黒が先、赤が後になります。
2. 各機器へのケーブル接続は、電源OFFを確認、+-の極性間違いの無い様に確認をしながらお願いします。

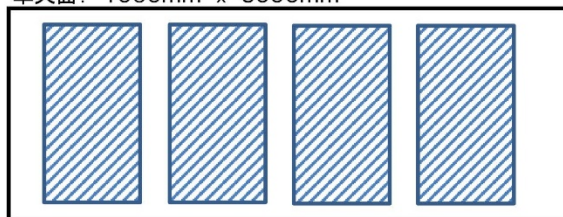
参考：SP専用リモコンCR16Aの表示例



※24V系のバッテリーモニターは御座いません。

4 ソーラーパネルの構成 100W x 4枚

車天面：1060mm x 3000mm



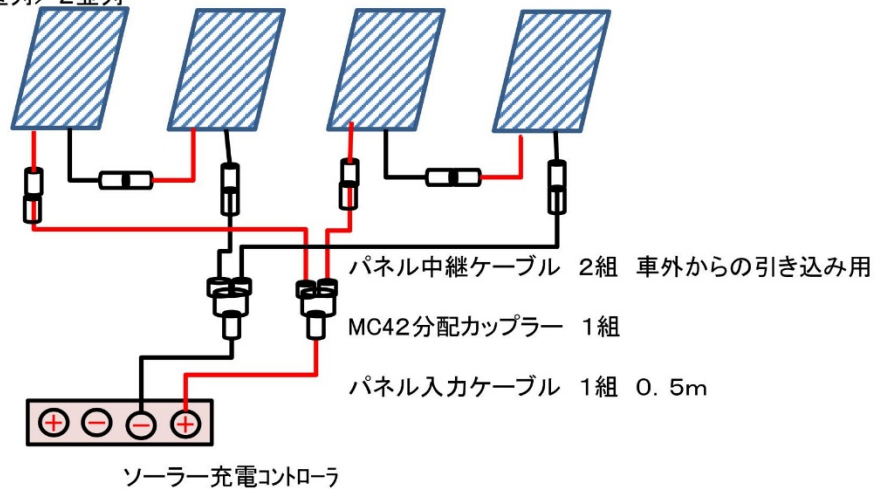
日中、ソーラーの入力もあり、外部コンセントにてサブバッテリーを充電する時は、ソーラー調整器の遮断スイッチを「OFF」にしてください。ソーラーのみの使用時は、「ON」で大丈夫です。



ソーラーパネル仕様: 単結晶100W RNG-100D-SS

公称最大出力: 100W	最大システム電圧: 600V DC (UL)
公称最大出力動作電圧 (Vmp): 20.4V	公称開放電圧 (Voc): 24.3V
公称最大出力動作電流 (Imp): 4.91A	公称短絡電流 (Isc): 5.21A
重量: 6.4kg	寸法: 1062 x 530 x 35 mm

パネル接続: 2直列/2並列



ソーラーパネルの発電電力量

最大電流: $400W \div 24V = 16.7A \Rightarrow 30A$ コントローラ使用

1日期待発電電力量 $40.8V \times 4.19A \times 2 \text{並列} \times 0.5 \times 7 \text{時間} \div 1196Wh$

ONE-GAIN

入力30A 電圧12V/24V

太陽電池充放電 コントローラ PS-30M



項目	内容
型式	PS-30M
機能	充放電
設定電圧	12Vまたは24V
入力電圧	60Vdc
電池入力電流	30A
電流	30A
方式	PWM
電圧	14.15V(シール型) 14.4V(補水型)
遮断電圧	11.4V
再接続電圧	12.6V
...	30~80mV
...	10μA
温度範囲	-40~60℃
消費電流	50mA メーター照度100%(max)
補正	オプション(PS-RTP)
...	153×105×55(mm)
...	0.4kg

【長期保管】

バッテリー バッテリーあがりの対策

ひと月に一度は 30 分ほど走行させる

バッテリー充電装置として BC-10 を用いて、通常の充電を施す
経年劣化が進んだバッテリーには BC-10 のリカバリー設定で数回完了させる



BC-10 LVYUAN

通常充電は、「AGM」24v 8~12 時間ほど

修復充電は、「REPAIR」半日×3 回くらい

※接続は、赤（+）→黒（-）の順で繋いでコンセントへ
外す時は、コンセントを外して、黒（-）→赤（+）順番



キッチントラック搭載品

貸出

返却

[illegible]

調理器具			☐		☐	
圧力鍋 16L			☐		☐	
圧力鍋 30L			☐		☐	
炊飯器五升	2		☐		☐	
炊飯ネット	2		☐		☐	
ライス保温容器	2		☐		☐	
炊飯水用ボトル			☐		☐	
包丁セット			☐		☐	
まな板 肉、野菜ほか	3		☐		☐	
トング 大・中	4		☐		☐	
レードル 大・中	3		☐		☐	
木べら 大・中	3		☐		☐	
ピーラー皮むき器	2		☐		☐	
じょうご 大			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	
			☐		☐	

貸出日 返却日
 年 月 日 年 月 日

(担当者)		
-------	--	--